



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月29日

上場会社名 株式会社 東祥
 コード番号 8920 URL <http://www.to-sho.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名 俊裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 桑添 直哉
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向

上場取引所 東名

TEL 0566-79-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,241	13.9	2,751	17.4	2,656	20.5	1,441	13.4
25年3月期第3四半期	9,868	10.5	2,342	20.6	2,204	22.6	1,271	35.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	78.40	—
25年3月期第3四半期	72.29	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
26年3月期第3四半期	31,790		11,850		37.3	644.45
25年3月期	28,874		10,686		37.0	581.09

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 11,850百万円 25年3月期 10,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	10.0	3,390	11.4	3,200	12.5	1,780	11.9	96.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	18,392,000 株	25年3月期	18,392,351 株
26年3月期3Q	3,089 株	25年3月期	2,491 株
26年3月期3Q	18,389,209 株	25年3月期3Q	17,590,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料の2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安等の影響により輸出企業の生産活動は好調であり、また、雇用環境も改善の動きが見られるなど緩やかな景気回復が進んでおります。

建物等の建築に関しましては、円安の影響による原材料の高騰、建設に携わる人手不足に加え、消費税等増税前の駆け込み需要も重なり、設備投資に係るコストは増加傾向にあります。

こうした経済環境のもとで、当社の主力事業であるスポーツクラブ事業において5店舗、ホテル事業において2店舗を新規開業いたしました。また、来期以降の出店予定として「ホリデイスーツクラブ」3店舗、「A Bホテル」2店舗の開発を決定いたしました。

スポーツクラブ事業における既存47店舗の当第3四半期末の会員数は、前年同期の会員数と比べ2.5%程増加しており、ホテル事業における既存5店舗の宿泊稼働率も前年同四半期に比べ3.4ポイント上昇しております。

一方費用面においては、ホテル事業での継続した新規開発を行う初年度であり、前年同期に計上できなかった新規開発に係る諸経費を計上したこと、スポーツクラブにおける既存8店舗のサウナ室改修工事費用の計上、9店舗の水垢クリーニングを実施したことにより、前年同期に比べ売上原価、販売費及び一般管理費は増加しております。

また、金融情勢の変化に対応しスポーツクラブ建設に伴う資金調達としてシンジケートローンの一部採用していましたが、コスト面を考慮し期限前弁済を実施したことにより、アレンジメントフィー等長期前払費用として計上していたものを全額償却したことに加え、テナントビルの一部改修に伴い固定資産を除却したことにより特別損失として101百万円計上しております。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は11,241百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益2,751百万円(同17.4%増)、経常利益2,656百万円(同20.5%増)、四半期純利益1,441百万円(同13.4%増)となりました。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の当第3四半期末における店舗数は、平成25年4月に開業した「ホリデイスーツクラブ盛岡」、同6月に開業した「ホリデイスーツクラブ市原五井」、同10月に開業した「ホリデイスーツクラブ寝屋川」、同11月に開業した「ホリデイスーツクラブ桶川」及び「ホリデイスーツクラブ草津」の合計5店舗の新規出店を加え合計58店舗となりました。

また、首都圏における新規開発の更なる強化を行うことを目的として、平成26年3月に東京事務所を開設する予定であります。

この結果、前事業年度に開業した6店舗と上記5店舗出店による増収効果に加え、既存47店舗における会員数が増加したことにより、売上高は9,037百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

<ホテル事業>

ホテル事業の当第3四半期末における店舗数は、平成25年6月に開業した「A Bホテル名古屋栄」及び同7月に開業した「A Bホテル小牧」を加え合計7店舗となりました。

ホテルにおいては、インターネットを利用した宿泊者の獲得が好調であり、既存5店舗における宿泊稼働率の上昇に加え上記2店舗開業の増収効果により、売上高は1,126百万円(前年同期比38.4%増)となりました。

<不動産事業>

不動産事業においては、賃貸マンション「A・C i t y」等の入居率は順調に推移しており、好調な経済環境によりテナントの入居率も高くなったことから、売上高は1,076百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ2,915百万円増加の31,790百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が1,840百万円、スポーツクラブにおける会費の集金代行による当社への入金が金融機関の休日により年明けとなったことにより営業未収入金が225百万円、ホリデイスーツクラブ5店舗及びA Bホテル2店舗の新規開業により有形固定資産が860百万円それぞれ増加したためであります。

負債総額は、前事業年度末に比べ1,750百万円増加の19,939百万円となりました。

主な要因は、ホリデイスーツクラブ及びA Bホテルの建設に伴う資金調達として長期借入金が570百万円、社債が1,294百万円増加したためであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ1,164百万円増加の11,850百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績につきましては、平成25年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,511,647	4,352,266
売掛金	34,205	49,232
営業未収入金	233,457	458,942
商品	1,260	1,441
貯蔵品	36,052	38,353
繰延税金資産	117,131	72,746
その他	204,849	198,104
貸倒引当金	△180	△180
流動資産合計	3,138,426	5,170,907
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,220,032	26,875,486
減価償却累計額	△8,231,283	△8,975,431
建物(純額)	16,988,749	17,900,054
構築物	1,844,552	1,987,447
減価償却累計額	△1,181,782	△1,272,196
構築物(純額)	662,770	715,251
機械及び装置	616,576	740,734
減価償却累計額	△308,610	△359,231
機械及び装置(純額)	307,965	381,502
車両運搬具	35,062	35,062
減価償却累計額	△24,195	△27,449
車両運搬具(純額)	10,866	7,612
工具、器具及び備品	660,720	730,500
減価償却累計額	△527,757	△574,477
工具、器具及び備品(純額)	132,962	156,023
土地	3,272,370	3,410,503
リース資産	741,657	1,082,441
減価償却累計額	△182,220	△171,298
リース資産(純額)	559,436	911,142
建設仮勘定	1,165,278	479,206
有形固定資産合計	23,100,399	23,961,296
無形固定資産		
投資その他の資産	35,752	34,608
敷金及び保証金	1,495,685	1,572,711
繰延税金資産	446,815	475,416
その他	641,164	555,108
貸倒引当金	△17,388	△17,447
投資その他の資産合計	2,566,276	2,585,788
固定資産合計	25,702,429	26,581,693
繰延資産		
株式交付費	3,956	2,939
社債発行費	29,906	34,548
繰延資産合計	33,863	37,488
資産合計	28,874,719	31,790,088

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,780	2,185
短期借入金	610,000	701,000
1年内償還予定の社債	780,000	735,200
1年内返済予定の長期借入金	2,888,186	2,688,469
リース債務	48,357	59,600
未払法人税等	752,501	520,178
その他	1,638,982	1,562,956
流動負債合計	6,720,808	6,269,590
固定負債		
社債	1,260,000	2,554,800
長期借入金	7,501,756	8,072,009
リース債務	534,232	878,215
役員退職慰労引当金	836,760	875,100
資産除去債務	171,825	225,616
その他	1,163,161	1,064,016
固定負債合計	11,467,736	13,669,757
負債合計	18,188,545	19,939,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	950,754	950,754
資本剰余金	814,104	814,104
利益剰余金	8,923,104	10,088,761
自己株式	△1,789	△2,878
株主資本合計	10,686,174	11,850,741
純資産合計	10,686,174	11,850,741
負債純資産合計	28,874,719	31,790,088

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,868,180	11,241,136
売上原価	6,630,226	7,484,850
売上総利益	3,237,953	3,756,286
販売費及び一般管理費		
役員報酬	209,025	217,140
給料	90,744	107,583
支払手数料	132,799	145,354
その他	462,845	534,923
販売費及び一般管理費合計	895,414	1,005,001
営業利益	2,342,539	2,751,285
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,421	3,845
受取手数料	87,755	100,501
雑収入	24,673	14,953
営業外収益合計	115,850	119,300
営業外費用		
支払利息	206,420	169,463
雑損失	47,936	44,576
営業外費用合計	254,356	214,039
経常利益	2,204,033	2,656,545
特別利益		
固定資産売却益	2,698	—
新株予約権戻入益	868	—
特別利益合計	3,567	—
特別損失		
固定資産売却損	156	—
固定資産除却損	5,493	15,978
会員権評価損	1,665	—
減損損失	24,986	—
シンジケートローン手数料	—	85,848
特別損失合計	32,302	101,826
税引前四半期純利益	2,175,297	2,554,718
法人税、住民税及び事業税	901,404	1,097,184
法人税等調整額	2,285	15,784
法人税等合計	903,690	1,112,969
四半期純利益	1,271,606	1,441,749

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、補足情報につきましては、第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため記載を省略しております。